

林野庁プレスリリース(8月)

- 平成 19 年梅雨前線豪雨、台風 4 号等に係る災害関連緊急治山等事業の採択 (8/7)
- 平成 18 年度松くい虫被害 (8/7)
- 平成 19 年度第 2 回水源林造成事業期中評価委員会の議事概要 (8/8)
- 第 2 回農林水産省政策評価会林野庁専門部会の概要 (8/9)
- 「森林・林業分野における遺伝子組換え技術の今後の展開方向に関する検討会」第 2 回の開催 (8/9)
- 平成 18 年の特用林産物の生産動向等(8/9) 8/10 に訂正
- 特定中山間保全整備事業「阿蘇小国郷区域」効率的整備手法検討第三者委員会の開催 (8/20)
- 「小笠原諸島森林生態系保護地域」保全管理委員会 第 2 回 の開催 (8/20)
- 特定中山間保全整備事業「邑智西部区域」効率的整備手法検討第三者委員会議事概要 (8/24)
- 平成 19 年梅雨前線豪雨、中越沖地震、台風 5 号等に係る災害関連緊急治山等事業の採択 (8/29)
- 林業用手持機械の振動・騒音測定値 (8/29)
- 特定中山間保全整備事業「南富良野区域」効率的整備手法検討第三者委員会 第 2 回議事概要 (8/29)
- 森林・林業分野における遺伝子組換え技術に関する研究開発の今後の展開方向 (8/31)
- 日中林業担当局庁の長による定期対話の開催 (8/31)
- 平成 19 年度林野公共事業の事業評価の結果 (8/31)
- 今後の花粉発生源対策の推進方策について～花粉発生源対策プロジェクトチーム検討報告～ (8/31)

林野庁 一口メモ

大賑わいの「子ども霞が関見学デー」

8月22日から23日の2日間、東京都霞ヶ関で、「子ども霞が関見学デー」が開催されました。

「子ども霞が関見学デー」とは、子どもたちや保護者を対象として、各府省庁が連携して業務の説明や省内見学などを行うことにより、親子のふれ合いを深めながら、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、府省庁の施策に対する理解を深めてもらうことを目的としたイベントです。

林野庁では「かすみがせき木工教室」を開き、子どもたちに、小枝でつくるキーホルダーや、丸太を利用したコースターの製作に挑戦してもらいました。また、木づかい運動 や美しい森林づくりのポスターの展示やビデオ上映、パンフレットの配布をして施策の紹介を行いました。

木工教室に挑戦した子どもたちは563人。小刀やのこぎりを使うのが初めての子どもたちがほとんどでしたが、スタッフの説明をよく聞いて真剣に作業してくれたので、大きなケガもなく無事に2日間を終わることができました。



編集 後記

先日、東京都内で行われた、第六回「森の聞き書き甲子園」の開会式に参加したときのこと。会場に集まった高校生たちのほとんどが、日本の森林事情や環境状況を危惧し、自主的に参加を希望したとのことでした。

そこで、ふつと回想。自分が高校生のとき、森林や環境問題について、「こつすべき」といった意見をもっていたか。そもそもこれらの問題自体、気にかけていたのだろうか。答えは「NO」、まったくの他人事でした。

今の高校生は、森林や環境問題への関心が高く、自分の意見をしっかりと持っているのだな、と感心しつつ、自分の高校時代を思い返すと情けなく、猛暑を忘れるほど心が寒く感じられました。

林野 RINYA 9月号 No.6

平成 19 年 9 月 15 日発行

発行 林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関 1 2 1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集 株式会社トレイントラックス

東京都渋谷区富ヶ谷 1 41 7 クリサンテ 1002

印刷 財団法人林野弘済会

東京都文京区後楽 1 7 12